

令和4年度
「モラル・エッセイ」コンテスト受賞者一覧



福島県教育委員会

[審査結果]

この度は、「モラル・エッセイ」コンテストに多数の御応募をいただき、誠にありがとうございました。一次・二次審査を経て下記のように受賞者が決まりました。

9名の皆様、受賞おめでとうございます。

中学生の部 最優秀賞 1名

「揺れるポップと私の気持ち」 いわき市立小名浜第二中学校 2年 滝澤 飛雅 さん

優秀賞 3名

「優しさと母の愛情」 大玉村立大玉中学校 1年 佐原 凜 さん

「花火大会」 いわき市立中央台北中学校 2年 山内 荘大 さん

「十三歳、兄になる」 伊達市立桃陵中学校 2年 菅野 洵苒 さん

高校生の部 最優秀賞 1名

「母の言葉」 好間高等学校 3年 石井 凜 さん

優秀賞 2名

「言えない『ごめんね』」 好間高等学校 3年 岡 玲奈 さん

「枯れない花」 橘高等学校 1年 村松 花菜 さん

一般の部 最優秀賞 1名

「休日の遊園地」 福島市在住 渡邊 定行 さん

優秀賞 1名

「鈴の音」 いわき市在住 鶴沼 智子 さん

[応募総数]

	中学校	高等学校	一般	計
応募総数	1164	98	60	1322

(審査委員)	一次審査	義務教育課指導主事 高校教育課指導主事	
	二次審査	上越教育大学 学 長 日本大学工学部 教 授 福島県教育庁教育総務課長 福島県教育庁高校教育課長 福島県教育庁義務教育課長	林 泰成 氏 渡邊 真魚 氏 堀家 健一 平澤 洋介 石幡 良子

[講 評]

- 小さい頃の出来事や祖父母とのかかわりについて、改めて考えたことで見えてきたもの。そこには、郷土や家族への思い、友だちへの感謝、コロナ禍における支え合い等への気付きがありました。これらについて素直な心で向き合い考える作品が増えました。
- 電車の中や買い物など、何気ない普段の生活で価値観の違いに触れた時に、立ち止まり、大切なことは何か、みずみずしい感性で自分自身に問いかけるような作品が数多くありました。